

黒埼町の風呂屋

町史編さん課

黒埼町の風呂屋(五)

ひとときわ目をひく建物だった 大野二ノ町の風呂屋「鶴の湯」。

わなかったことと対照的であ

五十二年「月の湯」の戦前戦後を通じてのふきぬか(おがくず)使用は、「花の湯」が昭和五十一年まで燃料にふきぬかを全く使

昭和五十三年四月二十日に「月の湯」は廃業したが、その前日の二十九日には浴場を無

料開放して、今までの客への感謝の気持ちとした。

明治四十年の開業以来、逆算すると約七十一年営業したことになる。

三軒目の風呂屋「鶴の湯」昭和二年から昭和四十八年までの約半世紀間、今の大松食堂(二ノ町)のところに「鶴の湯」という風呂屋があった。

創業者の宗村卯一さん(明治二十四年生、昭和四十九年没)は、黒埼村が昭和初期の農村恐慌に疲弊し、窮乏のどん底にあつた時、村おこしのため同志とともに報徳のおしえの普及と実践に尽くした人として知られている。

初め、宗村さん一家は大野新町に居住し、卯一さんは町内の山田木工所に勤めていた。そろそろ独立を考え始めていた昭和二年、たまたま二ノ町の開念寺道場前、今の大松理髪店のところにあつた風呂屋「鶴の湯」が、人手不足のため廃業することを知った。そこで卯一さんは経営者の長公さ

んと交渉して「鶴の湯」の権利を譲り受けた。

「鶴の湯」の開業までしかし、場所の問題があつた。同業者を増やさないため、権利の譲渡以外の開業を認めないだけでなく、開業できる位置も概ね定まっていたのである。

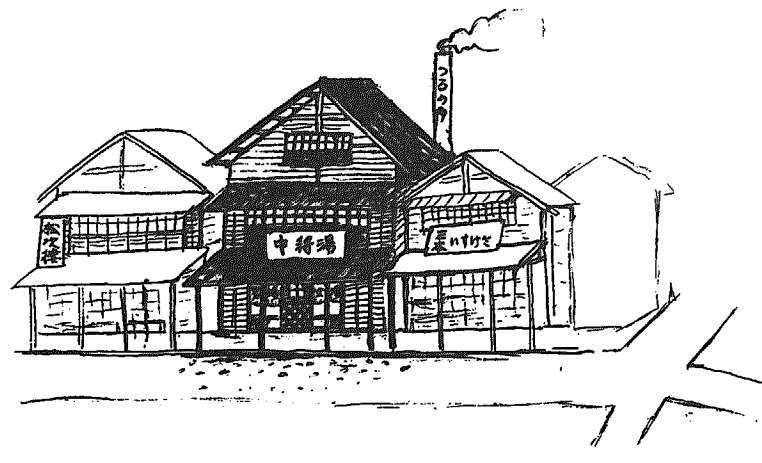
最初「鶴の湯」を取りこわした跡に、とも考えたが、その敷地では狭くて、近代的な浴場づくりを考える卯一さんにとって物足りなかつた。しかし、今の大松食堂のあたりに適当な土地が見つかったため、さっそくその土地を譲り受けた。

土地は約五十坪(約一六五平方尺)あり、間もなく竣工なつた「鶴の湯」は、一階が全部浴場と脱衣場だったため、家族の居住する二階は高く、当時の大野の町の中でも一際目を引く建物だった。(上図参照)

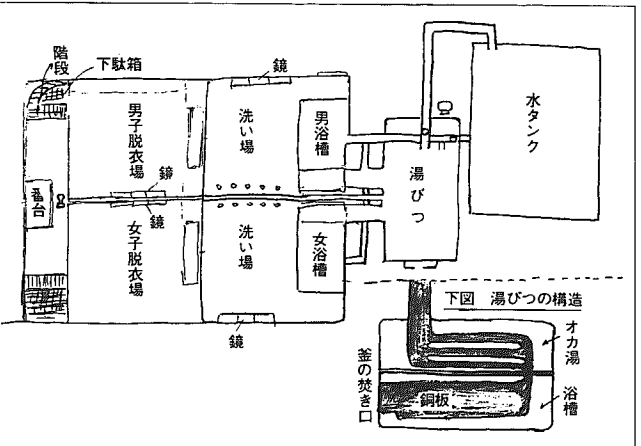
大正十二年一月十六日付新潟新聞に「動力七馬力半をもつて一時間に三百五十石を給水しており、今後大野町の人口が数倍し一万人になつても充分給水し得る」と記されている。しかし、実際にはその四年後の昭和二年ころには、揚水機場に近い八区、七区、仲町を除いて、二ノ町・諏訪町・新町と距離が遠くなるほど水の出が悪くなつていた。

昭和二年「鶴の湯」は開業した。町の人々は「鶴の湯」の鶴を前の湯屋の亀からつけたものと思つていたが、そうではなく卯一さんの妻コウさんの実家の母の名前から取つたものだという。

「鶴の湯」は最初から大野簡易水道組合の水を使用した。しかし、新田町の揚水ポンプ



「鶴の湯」の外観/ガンの部分は両隣と連なって同じ高さで作られていたが、家族の居住する2階は下が脱衣場という関係からかなり背が高かつた。3階にガラス窓がついているが、本当の3階ではなく、屋根裏で、子供の勉強部屋として使っていた。



「鶴の湯」の内部/町の風呂屋の湯の沸かし方はほぼ同じであつた。「鶴の湯」の場合、まず高い位置に設けられた貯水槽に水を取り入れる。そのすぐ下に湯びつといて、長方形のくさまきで作つた風呂のようなものがある。中に赤金(銅)の釜が据え付けられていて、貯水槽からの水を沸かした。この湯びつで沸かしたお湯のうち、上の出口からのお湯は上がり湯へ、下の出口からのお湯は浴槽へ送られた。

手づくりのせんたくばし 2300枚寄贈

町老人クラブの婦人部(部長・宮本寛さん)では、毎年一回、小・中学校、保育所、役場など町内の施設に手づくりのせんたくばしを寄贈しています。今年も十一月に入つて二千三百枚を寄贈しました。町内各地域の婦人部員の皆さんが十一月中に作業したもので、寄贈先では、使うのが借しにくいきれいな、との声も。

ダンスパーティーに355人

十二月十八日(日)夜、総合体育館でクリスマス・ダンスパーティーが開かれました。総勢三百五十五人が参加(男百四十四人、女二百一十一人)。広い会場をいっぱい使つて、生バンドの演奏をバックにステップを踏みました。町公民館主催で今回が一回目のダンスパーティー、来年も開催するそうですので、ご参加を。



黒鳥小でチャリティバザー

十二月九日(金)、黒鳥小学校では児童会主催のチャリティバザー「黒鳥祭」が行われました。体育館を会場に、児童や先生の手作りの品物を、児童会発行のお金で買つたりするものです。会場には児童の家族の皆さんも訪れ、にぎわいました。このバザーでの収益金は、赤い羽根共同募金、ユニセフへ寄付されました。

女の自立テーマに講演

十二月十四日(水)、「女の自立」をテーマに女性史研究家の倉本正子さんの講演が行なわれました。婦人を対象として九月二十一日から始まつた講座「いきいきレディススクール」の最終回として行われたもので、会場は環境改善センター。参加者は約三千人でした。参加者は意義深い話に熱心に聴き入っていました。

ニ/ュ/ー/ス/足/報/

毎月15日ごろまでにご連絡を
12月21日、大野ライオンズクラブはサ
ンタにふんして興野、大野の二保育所を
訪問。(写真は興野)



善意の窓

- * 松井節さん(大野仲町)が、教育関係・医療関係行政にと百万円を寄付。
- * 江端直樹さん(黒鳥)が社福社にと五十万円を寄付。
- * 町内各地域の老人クラブが、一円玉募金で集まつた十二万六千七百四十円を寄付。
- * 黒崎高校一年六組がバザー収益金を障害福祉にと一万二千円を寄付。

表彰おめでとうございます

県知事表彰(精勤章)
成海 正栄氏



長年にわたり、消防団幹部として精励され、黒埼町消防団の発展充実に尽力されました。

スポーツ大会

- ◆ 電車沿線銃剣道親善近郷大会 (11月20日、月瀧小体育館)
 - 団体戦優勝・黒埼Bチーム(石川弘、古俣侃)、準優勝・黒埼Aチーム(桜井三作、保刈市太郎、渡辺善治)
 - 個人戦・優勝 石川弘3位 桜井三作
- ◆ 第16回町民バドミントン大会 (12月11日、総合体育館)
 - 男子ダブルスA①久住光一、斉藤充②浅間明彦、已亦久一③大野耕治、近藤正次
 - 男子ダブルスB①渡辺平穂、入山義秋②佐藤勉、南雲正紀③長谷川仁司、佐久間昭浩
 - 女子ダブルスA①吉岡純子、丸山久枝②菅田ふさ子、阿部里子③南雲徳子、石田裕子
 - 女子ダブルスB①上市昭子、富樫アイ子②小田原信子、吉増昭子③源川イク、保莉ミツ
 - 男子シングルスA①永井謙二②山崎芳一③深谷光司
 - 男子シングルスB①入山義秋②渡辺平穂③松沢圭介

工事名	工事業業者	請負額	入札日	完成期限
町道鳥原新地2号線改良工事	(株)樋口組	6,950千円	11月28日	来年3月7日
集落道59号線(第2工区)改良工事	(株)新湊組	5,500千円	11月28日	来年3月20日
木場川前線(第2工区)改良工事	(株)新湊組	15,000千円	11月28日	来年3月20日
町道金巻10号線用地丈量測量委託	日伸技術(株)	1,250千円	11月28日	来年2月15日
町道山田立仏2号線路線測量、用地丈量測量、道路設計委託	(株)北日本測量設計事務所	3,400千円	11月28日	来年3月10日
町道山田立仏2号線C・B・R試験委託	(株)佐藤企業	280千円	11月28日	12月22日
町道鳥原1号線改良工事	(株)赤川組	5,700千円	11月28日	来年3月7日
町道木場20・21号線改良工事	(株)新湊組	11,800千円	12月9日	来年3月10日

入札結果 総務課